



林業福島

No. **683**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



7

2021

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 新緑の湖畔



新任あいさつ

福島県森林組合連合会
代表理事会長 田 子 英 司

福島県森林組合連合会の事業運営にあたり、平素より特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

去る五月二七日に開催した第七〇回総会後の理事会において、代表理事会長に選任されました田子英司です。よろしくお願い申し上げます。

さて、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故から十年が経過しましたが、国、県のご支援、森林林業関係者の御尽力により森林・林業の再生・復興の姿が見えてまいりましたが、森林の整備には、長い期間が必要であり、その取り組みは、緒に付いたばかりと思います。

本年度からは、「第二期復興・創生期間」が開始されますが、政府は、本年三月に「復興・創生期間」後における東日本大震災からの復興の基本方針を改正し、ふくしま森林再生事業による間伐等の森林整備とその実施に必要な放射性物質対策等の実施や里山の再生に向けた取組、原木しいたけ等の特用林産物の産地再生に向けた取組を進めることが明記されており、特にしいたけ原木生産のための里山の広葉樹林については、伐採・更新による循環利用の取組を推進するとされております。本県の森林・林業の復興、創生の更なる加速化に向けて、系統森林組合が連携し、一丸となつて取り組みを進めてまいりたいと考えております。

また、森林組合法が改正され、本年四月から施行されております。法改正の背景には、戦後造成された人工林の本格的な利用期が到来し、森林資源の充実があります。「伐つて↓使つて↓植える」循環を進めるため、川上、川中、川下の連携強化を図り、公共施設や私達の生活において木材の更なる利活用を図るとともに、計画的な伐採、再造林（植栽）を進め、次の世代に森林資源を継承していくことが重要な使命であると考えます。

このため、地域林業経営の担い手として系統森林組合の役割が強く求められており、森林の経営管理の集積・集約、原木販売の強化、伐採、再造林の推進を通じ、山元の組合員への収入確保の拡大を図りつつ、組合員と連携して森林の水源かん養など公益的機能や木材生産等の経済的機能の発揮に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えております。

皆様の一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら	優良団体・事業者等を表彰…………… 6
新任あいさつ	クロモジ等の地域資源をつかった和精油で
福島県森林組合連合会	地域活性化を推進…………… 7
代表理事会長 田子英司… 1	普及指導員通信…………… 8
林業アカデミーふくしま実習フィールドでの	森連だより…………… 9
研修が始まる！…………… 2	林災防だより…………… 10
県政コーナー	木の文化を育む ²⁸ …………… 11
広葉樹林の再生に向けた取組み………… 3～4	木材市況・ふくしま東西南北…………… 12
熱中症を防ぎましょう…………… 5	はなしのひろば・お知らせコーナー…………… 13

林業アカデミーふくしま実習フィールドでの 研修が始まる！

林業振興課

福島県では、森林の再生や林業の成長産業化の実現に向けて、これからの林業を担う人材を育成するため、令和3年4月より林業アカデミーふくしま短期研修を開講しており、この度、実習フィールドで初となる実技研修を実施しましたので紹介します。

実技研修は、令和3年6月14日～17日の4日間、県内の林業従事者を対象としたチェーンソー伐木造材技術研修を塙町で実施しました。

この研修は、伐木造材作業に関する技術、健康障害防止や安全作業等に必要な知識等の向上、地域において安全な伐木造材等を指導できる者の育成を目的としています。

座学は湯遊ランドはなわ施設内で、実技研修フィールドは、今年3月に塙町と協定を締結した町有林でそれぞれ行いました。

初日の座学では、林業・木材製造業労働災害防止協会福島県支部の鈴木事務局長より、林業労働者にとって基本となる健康管理や関係法令について学ぶとともに、初日から3日間の実技研修では、青森県国有林材生産協同組合専務理事の小田桐久一郎氏を講師に招き、チェーンソーの目立てや伐木作業の基本トレーニング、大径木の伐倒作業やかかり木処理等について実演いただき、研修生に対し個別に指導していただきました。

研修最終日となる4日目には、県郡山地区木材製材協同組合営業部長の五輪賢一氏を講師に招き、材の樹種や尺による用途、市場の動向に合わせた採材方法など「有利な採材技術」について、実演を交えながら実習を行いました。

研修生は講師の言葉に熱心に耳を傾け、また研修生同士が積極的に意見交換を行うなど実際の現場での状況と照らし合わせながら、伐倒・造材作業におけるコツやテクニクについて学びました。

研修生からは、「安全に処理する方法を学ぶことができた」、「今回の研修内容はとても参考になったので、今後も講座を継続して欲しい」などの感想をいただきました。

県では、今後も市町村林務担当職員や林業従事者等を対象に林業アカデミーふくしまの短期研修を実施していく予定であり、研修毎に参加者を募集しますので、奮ってご参加ください。



五輪講師と研修生



小田桐講師の指導を受ける研修生



有利な採材技術についての実習風景

林業アカデミーふくしまでは、令和4年4月に開講する就業前長期研修の研修生募集案内を7月より開始します！林業に興味のある方、自然の中で働きたい方など、福島県の林業で働いてみませんか！詳細は林業振興課HPよりご覧ください。



県政コーナー

広葉樹林の再生に向けた取組

福島県森林整備課

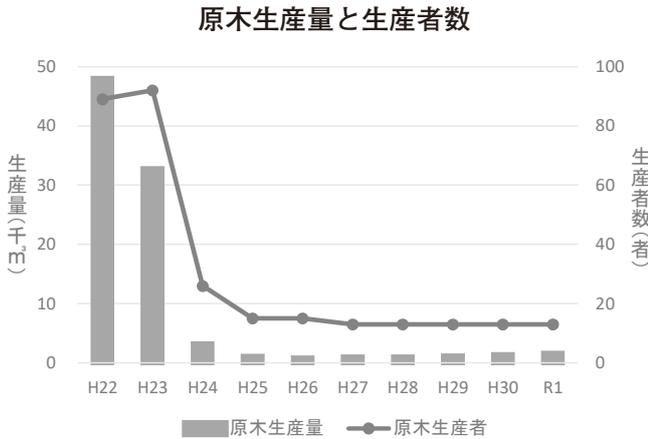
1. はじめに

福島県では、放射性物質により利用できなくなった広葉樹林を再生する取組みを行っています。今年度実施している内容について紹介します。

2. 取組の経過

本県は、原子力発電所事故前、阿武隈山系を中心にしたけ栽培用の原木の生産が盛んに行われ、県外にも多く出荷されており、全国有数の産地でありました。しかしながら、放射性物質の影響により、事故後十年を経過した今日においても、中・浜通りの森林の多くは、原木等の放射性物質濃度の指標を上回り、原木等として利用できない

放射性物質濃度の利用可能な指標値	
しいたけ原木	50ベクレル/kg
薪	40ベクレル/kg



い状態となっています。令和元年の県内のしいたけ原木生産量は、事故前平成二三年比で約3割、原木生産者も一五割まで減少しています。このような中、本年三月に閣議決

定された「復興・創生期間」後における東日本大震災からの復興の基本方針の変更について」において、しいたけ原木生産のための広葉樹林について、伐採・更新による循環利用が図られるよう計画的な再生に向けた取組みを強力に推進することが明記されました。

これを受け、国・県・林業関係団体（県木連・県森連）から成る「里山・広葉樹林再生プロジェクト」を四月に立ち上げ、原木林資源の循環利用に向けて、広葉樹林の計画的な再生に向けた取組を進めていくこととしました。

3. 検討していく内容

四月に行われた第一回プロジェクト会議では、以下三つ視点で検討を行うこととしました。

(一) 再生プランの作成

地域ごとの再生プラン（震災前の原木林の把握、しいたけ原木等の需要を踏まえ再生が必要な原木林の抽出、伐採等の実行体制等）の作成。

(二) 科学的知見の発信・共有と更なる集積

既知の科学的知見、ぼう芽枝の放射性セシウム濃度に対する土壌中の放射性セシウム濃度及び交換性カリウム濃度の影響等の追加調査。

科学的知見をまとめた「しいたけ原木供給に向けた里山・広葉樹林再生ガイドライン（仮称）」の作成。

(三) 伐採した広葉樹の利用拡大
製紙用、燃料用チップや内装材



広葉樹のぼう芽更新

需要（中・大径木）の創出（放射性物質を含むこと、様々な形状があることを踏まえつつ、販路開拓を検討）

4. プロジェクトで目指す姿

○しいたけ原木生産の停滞により大径化・高齢化した原木林について、採算がとれる原木

林において、伐採・更新

による原木資源の循環利用

と地域資源を活用した生業

の再生。

○それ以外の原木林において

は、長伐期化の推進等による

公益的機能の發揮。
○しいたけ原木以外



震災前までこの原木林として活用されていた広葉樹林



伐採や不要な萌芽枝の除去（萌芽整理）などの手入れが行われず、径が太くなったり、荒廃した広葉樹林

にも多様な木材需要を創出することにより、広葉樹林の利用拡大。
○福島県における取組みをモデルとして、原木生産に影響を受けている他県へ横展開。

5. 現在の進捗

県では、しいたけ原木林等として利用されていた里山の広葉樹林を対象に、森林の生育状況や放射性物質の動態、しいたけ原木等を含む広葉樹材の需要などを総合的に踏まえ再生プランを作成していく予定です。

現在、地域の関係者から資源状況や将来の生産見通し等について、個別にヒアリングやアンケートを実施しており、再生プランに活かしたいと考えています。

ヒアリング等の対象と内容

○森林組合

- ・広葉樹林の資源状況や施業履歴
- ・広葉樹林の整備に係る実行体制
- ・今後の広葉樹林の整備・利用の考え方

○市町村

- ・今後の広葉樹林の整備・利用の考え方
- ・原木しいたけ、しいたけ原木、広葉樹材等の生産見通し
- ・広葉樹林の整備に係る実行体制

○原木林所有者・原木生産者の団体

- ・現在のしいたけ原木の生産状況
- ・今後のしいたけ原木の生産見通し

○原木しいたけ生産者の団体

- ・現在のしいたけ原木の入手状況
- ・今後のしいたけ原木の需要見通し

○木炭・薪の生産者の団体

- ・現在の木炭・薪用原木の入手状況
- ・今後の木炭・薪用原木の需要見通し

○広葉樹材の需要者

- ・福島県産広葉樹材の需要（用途、流通）

- ・しいたけ原木林から生産される広葉樹材の新たな利用方法

6. 令和四年度事業の実施に向けて

向けて

広葉樹林の再生については、平成二六年度より「広葉樹林再生事業」により実施してきたところですが、事業創設当時、放射性物質の影響が比較的少ない会津地域から実施し、

令和二年度からは、阿武隈高地を含めて実施エリアを全県に拡大してきたところですが、

しかしながら、現事業においては、事業の対象となる項目が限られたり、

実施後に継続的な萌芽枝の調査が必要となるなど、「本格的・計画的な広葉樹林の再生」に十分な実績となっていないのが現状です。

森林整備課では、里山・広葉樹林再生プロジェクトで議論を重ね、地域関係者の意見を踏まえて、放射性物質の影響を受けたしいたけ原木林等の広葉樹林再生を加速して行きたいと考えております。

7. おわりに

以上のように、しいたけ原木林等の広葉樹林の再生に向けた取り組みを行っているところですが、広葉樹林の再生にあたっては、森林所有者の意向や対象となる広葉樹林がどのくらいあるか等の情報の集約がポイントとなっております。

興味・関心のある森林所有者や林業関係者がおられましたら、ご一報いただければ幸いです。

問い合わせ先

福島県森林整備課
電話〇二四―五二―一七四二九
もしくは、最寄りの農林事務所森
林業部まで

熱中症を防ぎましょう

福島労働局労働基準部健康安全課

福島県内の令和2年の熱中症による労働災害は、死亡者数は3人（次表参照）と、平成28年以来4年ぶりとなる熱中症による死亡災害が発生し、休業4日以上死傷者数は20人で前年比2人増加するなど、高止まりの状況が続いています。これから暑くなる時期ですので、職場での熱中症予防に取り組みましょう。

令和2年福島県内の熱中症死亡災害事例

発生月	被災者	発生状況
1 8月	男 40歳代	正午頃に休憩のため付近にあった公園の水飲み場に歩いて移動していたところ、倒れたため、直ちに病院に救急搬送されたが翌日に死亡した。 (気温 34.2℃ WBGT値 31.2℃)
2 8月	女 40歳代	廃材を手作業で仕分けする作業を行っていたところ、倒れているのを発見され、救急搬送されたものの死亡した。 (気温 32.9℃ WBGT値 31.0℃)
3 8月	男 60歳代	高所作業車にて配管等の撤去作業に従事していたところ、当該高所作業車上で死亡しているのが発見されたもの。 (気温 29.8℃ WBGT値 28.8℃)

STOP! 熱中症クールワークキャンペーン

実施期間 令和3年5月1日～9月30日（準備期間4月、重点取組期間7月）
期間ごとの実施事項に重点的に取り組みましょう。

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

【STEP 1】 WBGT指数計でWBGT値を測りましょう。

【STEP 2】

事前に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

- (1) WBGT値を下げるための設備、休憩場所を設置し、休憩場所には水、冷たいおしぼり等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。通気性の良い服装を着用しましょう。
- (2) WBGT値が高いときは、単独作業を控え、WBGT値に応じて作業の中止、こまめに休憩をとるなどの工夫をしましょう。
- (3) 暑さに慣れるまでの間は十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣らしましょう。
- (4) のどが渴いていなくても定期的に水分・塩分を取りましょう。
- (5) 休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。
- (6) ①糖尿病 ②高血圧症 ③心疾患 ④腎不全 ⑤精神・神経関係の疾患 ⑥広範囲の皮膚疾患 ⑦感冒 ⑧下痢などがあると熱中症にかかりやすくなるため、医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。
- (7) 前日の飲みすぎや寝不足はないか、当日は朝食をきちんととったかなど、日常の健康管理を行いましょう。
- (8) 管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。

【STEP 3】

管理者等は、WBGT値を確認し、巡視等により、次の事項を確認しましょう。

- ①WBGT値の低減対策の実施状況 ②各労働者の暑熱順化の状況 ③各労働者の水分及び塩分の摂取状況
- ④各労働者の体調 ⑤作業の中止や中断の必要性

異常時の措置～少しでも異変を感じたら～

- ・いったん作業を離れる
- ・病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・病院へ運ぶまでは一人きりにしない

重点取組期間（7月1日～7月31日）

- (1) 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- (2) 水分、塩分を積極的に取りましょう。
- (3) 少しでも異常を認めたとときは、ためらうことなく、病院に搬送しましょう。



優良団体・事業者等を表彰

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会

令和三年五月二十七日(木)、当協会
の第一回役員会において、令和二年
度施工優良森林土木工事等が決定さ
れました。

顕彰は、林道維持管理コンク
ール、優良森林土木工事、優秀工事監
督者、緑化功労者、ふくしま森づく
り大賞からなります。

今年度は新型コロナウイルス感染
防止の観点から表彰式は行わず、表
彰状は後日、受賞された事業者・個
人等へ直接送付されることになりま
した。

林道維持管理コンクール

林道の維持管理において、地域住
民との連携等効率的・効果的な維持
管理が行われているなど、維持管理
の優秀な路線を表彰するものでは
す。令和二年度は、該当する団体は
ありませんでした。

優良森林土木工事等表彰

優良森林土木工事等表彰は、工事
施工者の技術の向上と工事の安全施

工の確保及び技術者の育成を図るこ
とを目的に毎年行われているもので
す。表彰の対象となる工事は、地方
林業協会から推薦のあった令和二年
度施工の森林土木工事で、福島県と
当協会で構成する表彰審査委員会の
審査により選考されます。

令和二年度は治山事業の部で七
社、林道事業の部で三社、優秀工事
監督者として十人が受賞されまし
た。

緑化功労者

緑化功労者は、緑化活動に永年に
わたって貢献し、その功績が顕著で
あった方を表彰するもので、いわき
市の緑川平隆さん、小野町の郡司兵
助さん、いわき市の高橋正行さんが
受賞されました。

ふくしま森づくり大賞

ふくしま森づくり大賞は、森づく
り活動や森林文化の継承を通して、
緑豊かなふくしまの創造に貢献した
優れた個人や団体を表彰するもの

で、ふくしま森づく
り大賞審査会に
おいて、市町村や
地方緑化推進委員
会、福島県林業会
議構成団体から推
薦のあった方の中
から選ばれます。

森づくり活動部
門では南会津町の
星義道さんが、森
林文化振興部門で
は小野町の大方俊
浩さんが受賞され
ました。

当協会は、県土
の保全、地域の安
全・安心を確保す
るために日々研鑽
を積んでいる事業
者の方々の功績を
広く県民にお知ら
せするとともに、
県民の森づくり活
動への参加意識の
高揚を図り、多样
な主体による森づ
くり活動を促進す
るため、今後も表
彰事業を続けてま
いります。

1 林道維持管理コンクール

団体名	管理者	対象路線名
該当なし		

2 優良森林土木工事受賞者

(1) 治山事業の部

推薦協会	工事名	工事施工者
県北	治山施設	(株)環境緑建設二本松(営)
県中	治山施設	水谷工業(株)
県南	復旧治山	矢祭建設(株)
南会津	防災林造成	吉野建設(株)
相馬	防災林造成	東北建設(株)
双葉	防災林造成	田中建設(株)
いわき	治山施設	松本建設(株)

(2) 林道事業の部

推薦協会	工事名	工事施工者
会津	山のみち地域づくり交付金	(株)高橋建設
南会津	山のみち地域づくり交付金	南総建(株)
相馬	林業専用道	後藤建設工業(株)

3 優秀工事監督者受賞者

推薦協会	所属事業所	氏名
県北	(株)環境緑建設二本松(営)	高柳 裕昭
県中	水谷工業(株)	迎 浩司
県南	矢祭建設(株)	大関 勇
会津	(株)高橋建設	菊地 覚治
南会津	吉野建設(株)	近藤 満
	南総建(株)	星 正人
相馬	東北建設(株)	中坪 孝光
	後藤建設工業(株)	菅野 昌彦
双葉	田中建設(株)	渡邊 宏行
いわき	松本建設(株)	松本 徹也

4 緑化功労者受賞者

市町村名	氏名
いわき市	緑川 平隆
小野町	郡司 兵助
いわき市	高橋 正行

5 ふくしま森づくり大賞

表彰部門	市町村名	受賞者名
森づくり活動部門	南会津町	星 義道
森林文化振興部門	小野町	大方 俊浩

コロナ禍における 山火事防止の普及啓発の取組

会津農林事務所

林業普及指導員 蓮 沼 正 将

1 目的と背景

会津農林事務所管内における山火事の発生件数は、令和2年は5件、令和3年は5月末現在で4件となっており、10年間にわたっても平均すると年6件程度の山火事が発生しています。

また、今年の2月21日には、栃木県足利市で大規模な山火事が発生し、23日目でようやく鎮火が確認されましたが、100haを超える山林が焼失しました。報道された燃え続ける山林の映像は、まだ記憶に新しいところです。

林野庁では、「あなたです 森を火事から 守るのは」をスローガンに令和3年全国山火事予防運動を実施しています。当管内においても会津地方山火事防止地区連絡協議会により、山火事防止パレードなどの普及啓発活動を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、林業普及指導員等による独自の普及啓発活動を実施したのでご紹介します。

2 山火事防止の普及啓発の取組

山火事が多く発生する4月下旬から5月中旬にかけて次の取組を行いました。

(1) 山火事防止の広報活動

スピーカーと山火事防止の看板を搭載した公用車で、管内すべての市町村を4日間かけて巡回し、広報活動を実施しました。特に、山菜採りなどの入山者が多い地域を重点的に行いました。

(2) 道の駅等における来場者への山火事防止の呼びかけ

広報活動に合わせ、山菜採りの入山者などが立ち寄りと思われる西会津町や昭和村などの道の駅等において、来場者へ山火事防止のチラシや普及啓発物品の配布等を行い山火事防止への協力を呼びかけました。

なお、5月になると新型コロナウイルスの感染拡大がみられたことから、来場者を対象とした個別の普及活動を控え、施設へのチラシ及び普及啓発物品の設置などにシフトしました。

(3) 林業事業体等への戸別訪問による山火事防止の呼びかけ

林内作業を行っている林業事業体を個別に訪問し、作業員や森林所有者等への山火事防止の呼びかけをお願いしました。

3 今後の取組

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、山火事防止の普及啓発活動も人との接触を避けて実施することが求められていることから、個別の広報活動の対象を、火気を使用する可能性がある山菜採りの方や森林に隣接する農地を所有する農家の方などに絞って行いたいと考えています。

一方で、密になりにくいレジャーとして、ソロキャンプなどのアウトドアレジャーがブームとなっていることから、山間地のキャンプ場や森林公園での呼びかけもこれまで以上に必要となります。

今後、地域の方の興味を引くようなインパクトのある独自のチラシやホームページを作成し、山火事防止を広く呼びかけるとともに、市町村の農業関係部局や消防関係者等との連携強化の手法についても検討していきます。



公用車による山火事防止の呼びかけ



施設への山火事防止チラシの設置を呼びかける農林事務所職員

森連だより

第70回 通常総会開催

去る五月二七日に福島市の杉妻会館において、第七〇回通常総会を開催いたしました。

議事に先立ち、秋元公夫代表理事会長の挨拶では、会員組合のご支援に感謝を表し、新型コロナウイルス感染症や自然災害の猛威に見舞われた一年を振り返り、被災者の方々へお見舞いの言葉を述べました。

東日本大震災・原発事故発生から十年目を迎え、未だ多くの方々避難を余儀なくされており、復興の加速化が求められているが、再興の途上にあること、森林・林業・木材産業は、国民の生活に密接に関わっており、果たすべき役割は大きく、引き続き、関係各位と連携を図り、本県森林・林業復興に意欲的に取り組んでいくため、尚一層のご協力を賜りたいと挨拶しました。

議事は、武藤寛会津北部森林組合長を議長に選出し、全十一議案承認されました。



昨年度は、本会「中期経営三カ年計画」の中間年にあたり、計画の確実な実行成果が求められる年となり、主要課題である「復興に向けた森林組合及び森林組合員の経営安定のための支援等に役員一丸となり取組んだ結果、木材共販では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、関係各位のご協力により、年度末において、当期剰余金を計上するなどの成果を上げることができました。

令和三年度は、「次期中期経営三カ年計画」、「新たな森林組合系統運動の基本方向」J Forest ビジョン二〇三〇(仮称)の策定に向けた組織の喫緊の課題などを検討し、ま

た、会員組合と共に復興・創生への取組みを積極的に推進していくことなどを総括として、部門毎に策定した事業計画が承認されました。

また、役員改選に伴い、総会後の理事会において、新役員が決定しました。

代表理事会長

田子 英司 (いわき市森林組合長)

副会長理事

富永 盛彦 (東白川郡森林組合長)

代表理事専務

松本 秀樹 (学識経験者)

常勤理事

遠藤 誠寿 (福島県森連参事)

理事

菅野 厚 (福島県北森林組合長)

矢吹 盛一 (田村森林組合長)

清野 邦夫 (西会津町森林組合長)

山内 清示 (只見町森林組合長)

佐藤 長平 (飯館村森林組合長)

代表監事

島田 正義 (会津若松地方森林組合長)

監事

國井 常夫 (西白河地方森林組合長)

八巻 一昭 (相馬地方森林組合長)

系統利用や永年の功績により、次の方々が表彰されました。

令和二年度系統利用優良組合

販売部門 いわき市森林組合

購買部門 飯館村森林組合

森林保険部門 ふくしま中央森林組合

功労者表彰

永年勤続役員 (勤続十二年以上)

佐藤 輝彦 (福島県北森林組合)

松原 昭義 (福島県北森林組合)

高木 次男 (福島県北森林組合)

古川 一郎 (郡山市森林組合)

武田 春男 (会津若松地方森林組合)

永年勤続職員 (勤続三十年以上)

磯貝 健 (郡山市森林組合)

鈴木 清人 (ふくしま中央森林組合)

水野谷和聖 (西白河地方森林組合)

大堀 俊一 (会津若松地方森林組合)

草野 宏 (いわき市森林組合)

永年勤続職員 (勤続二〇年以上)

渡辺 常吉 (ふくしま中央森林組合)

永年勤続技術職員 (勤続五年以上)

国分 敏夫 (福島県北森林組合)

浜尾 洋希 (ふくしま中央森林組合)

石井 玲子 (ふくしま中央森林組合)

瀬谷 栄一 (ふくしま中央森林組合)

井堀 裕市 (ふくしま中央森林組合)

市川 泰久 (ふくしま中央森林組合)

小野 吉秋 (西白河地方森林組合)

芳賀 孝幸 (会津若松地方森林組合)

二瓶 司 (会津若松地方森林組合)

五十嵐啓一 (西会津町森林組合)

佐藤 光 (只見町森林組合)

馬場 新樹 (只見町森林組合)

北山 伸二 (飯館村森林組合)

佐藤 清 (飯館村森林組合)

高橋 文男 (飯館村森林組合)

菅野 正光 (飯館村森林組合)

高橋 秀明 (飯館村森林組合)

市沢 治仁 (飯館村森林組合)

小野 隆庸 (飯館村森林組合)

佐藤 守 (飯館村森林組合)

一林一災一防一だ一よ一り一

林材業労災防止協会 福島県支部

日頃より、当支部の運営にご支援・ご協力を頂き感謝申し上げます。

今回は、林業死傷災害の状況や令和三年度の支部事業についてご理解を頂くことで、各職場における更なる安全意識の高揚に繋がることを望んでいます。

林業における四日以上以上の休業を含む死傷災害(別表1)は、全国的には減少傾向にあり、年間一、三〇〇名前後となっています。県内においてもほぼ同じ減少幅で推移し、年間三〇名前後になっていますが、改めて事故防止に努めていく必要があります。

また、一、〇〇〇人当たりの死傷者数を示す死傷年千人率(別紙2)では、林業は全産業平均の約十倍の事故発生率となっています。年々林業の現場においても機械化が進んだことで、重大事故の発生頻度は減っているものの、伐採作業に欠くことのできない道具がチェーンソーであり、チェーンソー絡みの事故が全体の六割を占めている状況です。事故はそれぞれの現場で各種の要

因が重なって発生するものですが、傾向としてチェーンソー操作者の事故は、幹割れや誤ったかかり木処理によるものが多く、伐採木によるチェーンソー操作者以外を巻き込む事故は、上下作業、近接作業や安全な退避距離の目測違いによるものが多いようです。

ご存じのとおり、国内の人工林はその六割が伐期を迎えています。森林の管理とその利用が大きなテーマとなっています。伐採して、使つて、植え、手入れする森林活用のサイクルを適切に進めることが、世界の人々が目指しているSDGsに貢献することになります。

そのためには、林業の事故を最小限にして、関係者への情報提供や新規就業者の確保・育成が大切と考えます。さらに、発注者である国、県、市町村、団体等は、安全に適正に管理できる諸経費を計上していく必要があると感じています。

続いて、当支部の本年度の事業は以下のとおりであり、皆様のご協力を得ながら進めていく計画ですので

- 1 安全衛生管理活動事業
 先山ゼロ災推進巡回指導、蜂アレルギー抗体検査受診の促進、振動障害特殊健康診断受診の促進、安全衛生指導員等の研修会開催など
- 2 安全衛生教育支援事業
 木材加工用機械・伐木等特別教育・機械集材装置・車両系木材伐出機械・刈払機・造林作業に係る安全教育の実施など
- 3 安全衛生対策支援事業
 講師の養成、安全衛生大会、チェーンソー選手権公式審判員の養成、地域協議会への参加など
- 4 林業労働災害防止に関連する受託業務
 緑の雇用現場技能者育成、緑の雇用林業労働安全推進対策、伐採安全
- 5 アドバイザー事業受託など
 会員への補助事業等
 エピペン購入補助、振動障害二次健診の受診補助、木材加工用機械技能講習支援など

(別表1) 林業の労働災害

(単位：人)

区分		年次					
		H15	H20	H25	H30	R1	R2
全 国	死傷災	2,572	2,073	1,723	1,342	1,248	1,275
	内死亡	61	43	39	31	33	36
福島県	死傷災	62	47	34	38	29	28
	内死亡	0	1	3	1	1	1

(別表2) 死傷年千人率

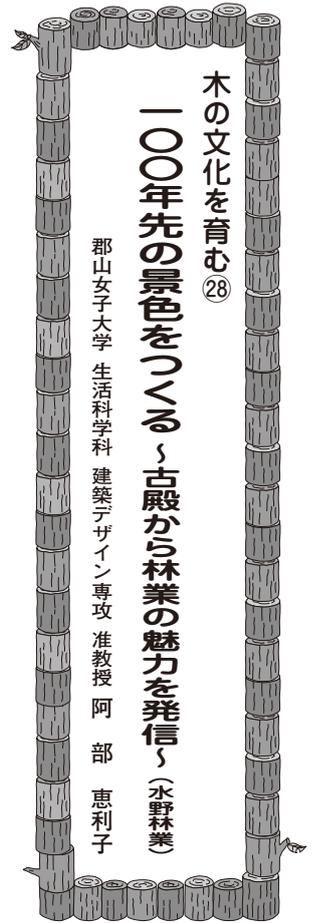
(単位：人)

区分		年次					
		H27	H28	H29	H30	R1	R2
全 産 業		2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	集計中
林 業		31.2	31.2	32.9	22.4	20.8	集計中

木の文化を育む²⁸

100年先の景色をつくる〜古殿から林業の魅力を発信〜(水野林業)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子



○はじめに

森林は地球温暖化防止や国土の保全、水源の涵養等、私たちに多くの恩恵をもたらしていますが、管理が行き届かず、日本各地で荒廃した森林が目立つようになりました。林業の担い手不足が問題となつている今日、先人が育んだ森林を次世代へ継承しようと、森林や林業の魅力が様々なかたちで発信されています。

○新しい林業を育てる

水野林業(古殿町)三代目の水野廣人さんは祖父の代から続く林業を二〇一三年に継ぎ、「一〇〇年後、二〇〇年後を想像しながら、林業家として丈夫な林業を育てたい、そして木の良さを多くの人々に伝えたい」と、新しい林業のストーリーを思い描きながら、「危険・きつい・汚い」と思われがちな林業のイメージを変えるため、森林や林業の魅力を様々なかたちで発信しています。

○人と地域と繋がる

水野さんは木を育て、伐り、植え

るといふ、これまで培ってきた林業の仕事地域や人と繋がることで観てもらい、関心を持つてもらうこと、そして森林や林業の魅力を多くの人々に伝える機会をつくることで、木の良さや山の価値を伝えたいと考えています。

木材が付加価値を付けた木製品に生まれ変わり、人々がそれを手にする時、その木製品ができるまでのストーリーを知ること、さらにその魅力が伝わります。また、地域と連携することで、林業にも独自性が生まれます。「多くの人々が木や山の価値を知り、次世代に継承する価値あるものとして関心を深めてもらえるよう、林業の可能性を広めたい。」と水野さん。

○古殿の伝統を未来へ

古殿町は流鏑馬の里として知られています。水野さんは、林業と馬を関連付け、NPO法人馬事振興会(古殿町)や福島大学食農学類と連携し、一〇〇年前、古殿町で行われ

ていた馬搬(伐採した丸太を馬で搬出する技術)を再現しました。搬出した丸太は木製ベンチとして製品化します。古殿町の伝統として知られる流鏑馬の馬と林業の結びつきから生まれた木製ベンチは製品化までのストーリーが魅力です。

○木や山の魅力を伝える

木に触れることで、木の質感や素材の良さをあらためて伝えようと、水野さんはこれまでに、きこり体験や古殿の杉を使った木製プレート、コースターの制作など、様々な取り組みを行ってきました。アウトドア製品の開発を通して木や山を活用し、自然を楽しむ企画も検討しています。

○森林サウナで森林浴

水野さんは、森林をフィールドに「森林サウナ」をつくりました。サウナで汗を流した後に森林浴で涼みます。新型コロナウイルスの終息を待つ、全国の皆さんに森林を活かした過ごし方を楽しんでいただきたい、と様々な企画を検討しています。

○まとめ

森林を次世代へ継承していくためにも、私たち一人ひとりが価値あるモノへの在り方をあらためて考える必要があるのではないのでしょうか。林業の可能性を最大限に引き出し、丈夫な林業が育つことを願います。



森林サウナ



古殿の杉を使用した木製プレート



水野林業 三代目 水野廣人さん



素材の価格〈工場着価格〉(2021年4月15日現在)

(単位：㎡当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	1	(0~0)		10 (10~10)	0	9 (8~10)	0
		10~14		並	スギ	14 (13~14)	1	(0~0)		13 (12~15)	1	13 (12~15)	1
	中	14~22	3.00	並	スギ	13 (11~15)	1	14 (14~14)	0	15 (15~15)	3	14 (11~15)	2
				並	ヒノキ	18 (14~21)	3	(0~0)		17 (16~19)	1	17 (14~21)	2
		20~28	6.00	並	スギ	16 (15~16)	1	10 (10~10)	0	18 (17~18)	1	15 (10~18)	0
				並	ヒノキ	24 (24~25)	0	(0~0)		23 (20~25)	1	23 (20~25)	0
			3.65	並	スギ	13 (12~15)	0	12 (10~14)	1	13 (13~14)	1	13 (10~15)	1
				4.00	並	スギ	13 (12~13)	1	10 (10~10)	△1	13 (13~13)	1	12 (10~13)
	1.80	並	アカマツ		10 (8~13)	0	(0~0)		9 (8~10)	0	10 (8~13)	1	
		外	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		32 (32~32)	2	32 (32~32)
	並				米マツ	(0~0)		33 (33~33)	0	30 (30~30)	2	32 (30~33)	2
	材	28以下	3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		30 (30~30)	5	30 (30~30)	5
4.00				並	アカマツ	(0~0)		(0~0)		30 (30~30)	5	30 (30~30)	5
				並	カラマツ	(0~0)		(0~0)		30 (30~30)	5	30 (30~30)	5
パルプ用材			並	マツ	7 (7~7)	0	(0~0)		7 (7~7)	0	7 (7~7)	0	
			並	広葉樹	10 (10~10)	0	(0~0)		(0~0)		10 (10~10)	0	

三月の原木市場への入荷量は、前月比六割減(前年比二割減)の二七、七八六立方メートルとなっている。販売量は、前月比六割減(前年比三割減)の二七、八五八立方メートルとなっている。四月の価格は強気配となっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	0	7 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	0	8 (7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	0	10 (10~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。
2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均価格を示す。
3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

桜井古墳は、新田川沿いの高台にあり、古墳の上に立つと新田川の流れとその周りに広がる水田を一望することが出来ます。現在、大きく育ったイグネ(屋敷林)により海までの眺めは遮られています。昔は、この古墳から太平洋まで一望することができたのではないかと思います。これだけ大きな古墳を作ることができたということは、新田川と太平洋がこの地域に豊かさをもた



いにしへの『古墳からの眺め』は如何に

相双農林事務所林業課 小池陽子

南相馬市で有名なものといえば「相馬野馬追」ですが、それ以外の隠れ観光スポットを御紹介します。南相馬市原町区にある「桜井古墳」は、全長七四・五メートルと東北地方でも有数の規模を誇る前方後方墳です。「前方後方墳」とは、前も後ろも「方形」＝四角の形状をした古墳のことです。

古墳といえば教科書に載っている西日本のものばかりを私自身想像していたので、散歩中に住宅街で偶然見つけたこの大きな古墳には正直驚きました。

国道六号線から看板を目印に東に数百メートル入ったところに古墳はあり、周りは公園として整備されています。敷地内には案内板が設置されており、古墳には二つの棺が納められていたことなどが紹介されています。古墳の頂上へは階段で登ることが出来ますので、お越しの際は、是非登って、そこからの景色を堪能してみてください。



「前方」より「後方」を眺めた桜井古墳

表紙の写真



「新緑の湖畔」

第35回ふくしま緑の写真コンクール 銀賞
 受賞者 片桐勝美さん(喜多方市)
 撮影場所：北塩原村

発行人

飯沼隆
 陽光社印刷株式会社
 (定価 一〇〇円)

編集

福島県内四森林管理署
 福島県森林・林業・緑化協会
 福島県木材協同組合連合会
 福島県農林種苗農業協同組合
 ふくしま緑の森づくり公社
 森林研究整備機構福島水源林整備事務所
 福島県森林・林業・緑化協会
 (福島市中町五番一八号県林業会館内)

はなしのひろば

公衆電話

夜の町を車で走っていると、あちこちの「灯り」が目にとまる。コンビニストアや飲食店の灯り、大きな広告をともし灯り、(こんな時間まで残業なのか...)道すがらの会社の灯り。街路灯。そして、ふと視線を落とした先に「公衆電話ボックスの灯り」。天井のライトがスポットライトになって電話機を煌々と照らしている。電話機が、静かに出番を待っているようだ。最後に公衆電話を使ったのは、いつだったろう? そう問うても思い出せないぐらい記憶が遠のいている。が、しばし記憶の糸を手繰り寄せると、学生で東京暮らしの時、両替をして十円玉や一〇〇円玉を持って、公衆電話ボックスに並んだことがあった。受話機の向こうからなつかしいふるさと訛りが聞こえてくると一瞬で距離が縮まるが、最後の硬貨が落ちると無情にもブーと音になる。「もうお金ないから」と言いながらきってしまうのがいつものことだった。電話ボックスを出ると、そのなつかしさを抱きながら帰路につくのだが、その周辺には、都会の現実が広がっているばかりであった。

携帯電話の普及で暮らしよりは便利になった。が、どうしても思いを伝えたくて、並んでまで電話をかける状況がなくなった今、少しの郷愁を感じながら公衆電話ボックスを眺めた。

次の日の朝、昨夜の公衆電話ボックスに気を留めていたはずが、いつの間にか通り過ぎてしまっていた。朝といえども七月の暑さは容赦ない。車窓を少し開けたら草いきれの匂いがしてきた。今日も暑くなりそうだ。(都)

お知らせコーナー

第18回ふくしま森林・林業写真コンクール 作品募集

森林の大切さとそれを支える林業の重要性を広く認識していただける作品を募集しています。

1 テーマ

下刈・間伐等の森林整備作業、木材の利用、特用林産物(炭焼き、きのこ栽培、漆等)、里山風景、森林レクリエーションなど福島県内の森林・林業に関するもの。

2 応募資格

アマチュアで、作品は福島県内で撮影した自作の未発表の作品

なお、特別賞として高校生以下の部を設けています。

3 作品サイズ

カラープリント、四ツ切・ワイド四ツ切(デジタル可)

4 応募締切

令和3年9月21日(火)(当日消印有効)

5 お問い合わせ先

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
 企画管理室 (TEL 024-573-0235)

作品応募の申込書は、当協会のホームページ (<https://www.fukurin-net.jp/>) より、ダウンロードできます。



第17回最優秀賞「木材積み込み作業」

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



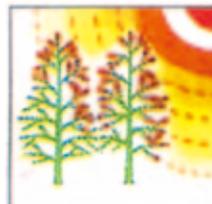
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



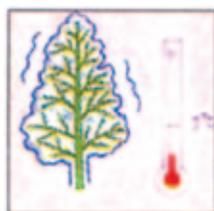
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジの GP シリーズ
グラップルプロセッサ

GP-35B

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大 38 度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-8 コントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ(オプション)

For the future with forest



イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp/>



(南東北支店) 福島県郡山市八山田 5-314

TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西 5-1

(支 店) 札幌・東北・南東北・関東・中部・関西・中四国・九州

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリーンガード・NEO

くん蒸剤

ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シートハイバリア

ハチ退治

ハチノックL (巢処理用スプレー)
ハチノックS (携帯用スプレー)

新商品

猪レスSTOPテープ

ヒルノックWスプレー

ヒルノックW



レインボー薬品株式会社

東京都台東区上野 1-19-10 お問い合わせ TEL. 03(6740)7777 平日 9:00~17:00 (土日・祝日は休み)



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW

For Professional



GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1